

平成18年度 第17回関東高等学校バスケットボール新人大会

平成19年 2月 10日 (土) 会場 ひたちなか市総合運動公園総合体育館

【男子第2回戦】 第1日目 Aコート 第6試合

チームA 京北 東京	100	30 1Q 26 24 2Q 29 20 3Q 31 26 4Q 28 OT	114	チームB 湘南工科大学 神奈川
-------------------------	-----	--	-----	------------------------------

京北

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	フロッグショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	田渡 修人	20	2	5	9	14	2	2	5	1	8		2	3	1	33
5	秋 真志	29	2	5	10	19	3	3	4	1	7	4	1		2	40
6	上原 拓也	9		2	4	6	1	2	2	1	3	3		1	1	32
7	井上 晃伸	2		2	1	2					1	2				9
8	萩原 和也	29	4	10	7	9	3	3	3		1	9	1	3		39
9	工藤 竜二	9			4	4	1	1	1			1	2			10
10	金 賢	2			1	2			2	1	7	2			5	35
11	山下 泰史															DNP
12	石川 翔一															DNP
13	川田 誠															DNP
14	高松 雄大															DNP
15	黒田 翔太郎															DNP
16	中澤 浩司															DNP
17	石津 大開															DNP
18	橋本 大徳															2
コーチ	田渡 優															
		100	6	24	36	56	10	11	17	4	26	19	7	9	9	200
		確率	25.0%	64.3%	90.9%				計	30						

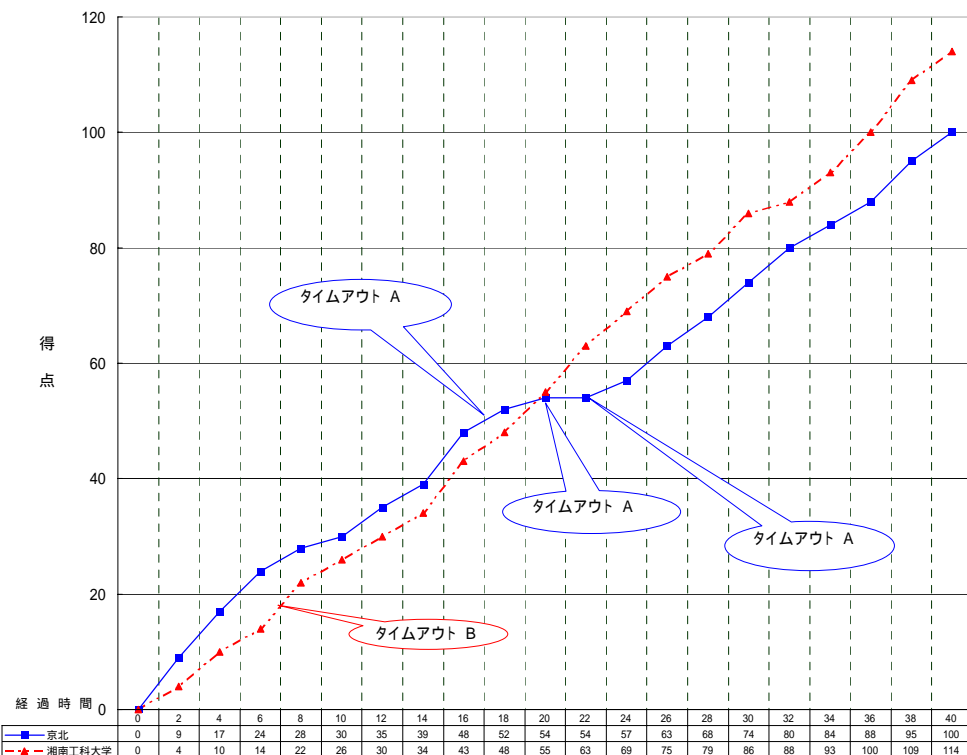
湘南工科大学

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	フロッグショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	森田 洋介	48	3	7	17	30	5	7	5	1	4	3	6		33	
5	清田 翔馬	27			11	20	5	8		2	7	3		1	40	
6	芹澤 義仁	8			4	7			4	1	5	1			20	
7	高橋 孝爾	10			5	7			2	2	1	2	4	1	35	
8	星野 健太	3	1	1		3			1		1	1			16	
9	新賀 諭紀														DNP	
10	佐藤 祥啓	4			2	4	1	1							4	
11	鈴木 翔大	3	1	3					1						12	
12	小倉 圭輔														DNP	
13	山田 夏輝	6			3	6	2	2	1	2	1	3	2		24	
14	園 隆太														DNP	
15	大野 元志														DNP	
16	野添 駿														DNP	
17	大野 将司														DNP	
18	岸 涼太	5			1	3	3	4	2		2	1	2	1	16	
コーチ	横山 秀夫															
		114	5	11	43	80	13	22	18	5	19	10	14	13	2	200
		確率	45.5%	53.8%	59.1%				計	24						

スターティングメンバー

出場選手

2分毎による得点の推移



戦評

1回戦を共に20点差以上で勝ち上がったチーム同士の対戦。東京1位の京北は2-3ゾーンディフェンス、神奈川1位の湘南工科大学はマンツーマンディフェンスで試合は始まった。最初にペースを掴んだのは京北、ドリブルスクリーンからのドライブで次々と得点を重ねる。このピリオドだけで5つのディフェンスリバウンドを取った#10金の活躍もあり、6分過ぎ、26-14とリードを奪う。ここで、湘南工科大学がタイムアウト、#4森田、#7清田のミドルシュートで差を詰める。30-26京北リードで第1P終了。

第2P、京北は#4田渡を起点にオフェンスを展開、自らもドライブインで得点を重ねていくのに対し、ミスを見逃さない湘南工科大学も速攻から得点を挙げ、一進一退の攻防が続く。残り1分、遂にこの試合初めてのリードを奪った湘南工科大学であったが、その後も互いに譲らない展開が続く。55-54湘南工科大学1点リードで折り返す。

第3P、先にペースを掴んだのは湘南工科大学。ドライブインに対して、カバーの甘くなった京北に対して攻撃を畳み掛け、一気に2桁の点差をつける。その後も#4森田の連続3Pシュートが飛び出し、#9工藤のジャンプシュートなどで追いつくが京北を突き放し、86-74と12点差で最後のピリオドを迎える。

第4P、京北#4田渡がポストプレイ、ドライブインとオフェンスの中心となって活躍するが、3分過ぎ、痛恨のファウルアウト。一方、湘南工科大学は#4森田のドライブインからの合わせ、あるいは自らのシュートで、京北に詰めて寄せない。最後まで走り続けた湘南工科大学が114-100で勝利し、準決勝進出を果たした。

主審	安西 郷史(指名)	副審	木下 貴行(神奈川)	記入者	石川 貴之
----	-----------	----	------------	-----	-------